

第 9 回 ベイタウンまつり



幕張ベイタウンの 10 年～新しいまちづくりをめざして

5 月 14 日、延期されたベイタウンまつりの喧噪のなか、コアでは「幕張ベイタウンフォーラム 2006」（主催：幕張ベイタウン連合自治会）が開催されていた。会場のホールは人で満杯、まちづくりへの人々の関心の高さをうかがわせた。

「幕張ベイタウンの 10 年～新しいまちづくりをめざして」と題して行われたフォーラムの第一部では、街で活動するグループ（ベイタウン音楽愛好会の大垣真利子さん、緑化活動に取り組んでいるベイタウングリーンサムの山木和子さん、大学生の富川真希さん）が発表を行った。

ピアノの購入運動から始まった大垣さんたちの取り組みは、今やチャリティコンサート、ベイタウン音楽会、ファツォリリの会、キッズプロジェクトへと広がりを見せており、子どもから大人までが音楽に親しむ土壌ができつつある。他の街に誇れる住民による住民のためのコンサートである。しかし裏方ボランティアは大変である。活動を担う人材を確保できるかが課題だという。

「ベイタウン・グリーンサム」も、コンクリートばかりの街並みに、緑のうるおいを創り出したいと活動を始めた住民グループだ。この 5 年間で植樹実験、街路樹調査や緑地

の再生など、企業庁や市への働きかけを行いながら住民の考える緑の環境づくりを実践してきた。街路樹調査マップや打瀬中横の緑地が美しい花壇にょみがえった写真など、活動の成果が紹介された。山木さんからは、活動を通して感じた市の管理の限界、住民の作業の限界を踏まえた上で、維持管理を含め、公園や緑地などの空間スペースをトータルに考える組織の必要性が報告された。



ベイタウンで学んだ富川さんにとっては、住民を講師に招いて学ぶ打瀬中の「AT 講座」は、生徒自身が自分の興味のあることに気づかせてもらえた貴重な機会だった。これも、地域の人が積極的に学校に関わるベイタウンならではの教育である。また、ロッテの優勝パレードではボランティアとして住民の結束の強さなどを感じることができたが、その半面、住民間の温度差や排他的な雰囲気コミュニティ形成のネックとなっていると指摘。

これからはあたたかな地域コミュニケーションをいかに広げていけるかがまちづくりの鍵になると意見を述べた。

第二部のパネルディスカッションは、コーディネータの原昭夫先生（千葉大工学部都市計画マネジメント）の、「これほどデザインされた街があったらどうか。容れものとして造られた街で、住民がどう泥臭く暮らすか...」という言葉で始まった。パネラーは土堤内昭雄さん、角幡玲子さん、樺田直樹さん。

3 人はそれぞれ、学校、福祉、コミュニティ活動において、人と人との関わりを模索してきた。その経験から、ベイタウンを「やりたいと思っていることができる街」、「新しい街の緑が生まれる街」と感じている。10 年で建物は少しくたびれたが、「街」としての魅力や落ち着きを住民たちが辛抱強く築いてきたと言っても過言ではない。

「これからの 10 年」については、長寿化や団塊の世代の退職、企業庁から千葉市への移管など、ベイタウンを取り巻く変化を踏まえ、何が必要かが話し合われた。現実問題として、高齢者や子どもが自由に出入りできる場所の不足も指摘され、今後はコミュニティ活動を支えるサポート・ヤードのようなスペースも必要になってくるとの発言もあった。コアや番街の集施設をもっと使いやすくするためにも、地域の事情に詳しい NPO による管理・運営などの方向性が見えてきた。その際、まちづくりの担い手となるのが元気な高齢者であり、地域に戻った団塊の世代への期待も強い。街が大きくなり、2 万人の意思決定が課題となるが、ベイタウンならではの住民参加の組織やしぐみを作っていけるかどうか、本当の意味での住民力が試される。【佐藤】

松本和将 ふたたびコア・ホールに

一昨年コア・ホールで演奏し、ベイタウンに大きな感銘を与えた松本和将氏が再びベイタウン・コア 音楽ホールに帰ってくることになった。今回のプログラムは「ベートーベン三大ピアノソナタ」。月光、熱情、悲壮とクラシック音楽ファンにはたまらない構成だ。

近年のピアノコンサートでは比較的短い曲を連ねることが多く、ベートーベンのソナタのような「大曲」を 3 曲つづけるというのはピアニストにとっても大きな負担となるだろう。エネルギッシュな演奏を見せる松本氏ならではの選曲で、彼のこのコンサートにかけるものが感じられる。

前回のコンサートではベイタウン外からの聴衆も多かったので、チケットは早めの購入を！

松本和将 ベートーベンリサイタル

日時：7 月 16 日（日）

13:30 開場、14:00 開演

場所：ベイタウン・コア 音楽ホール

チケット：2,500 円（一般）

1,500 円（中学生以下）

発売：ギャラリーキキ（17 番街）、ジャインパール（5 番街）、きらら（CPW）

主催：ベイタウン・コア音楽ホール文化基金

BAYTOWN ソフトバレーボールクラブ デビュー戦

4 月 22 日土曜日、BAYTOWN ソフトバレーボールクラブは今春加盟した千葉市協会主催の市民総体でデビュー戦を戦いました。元々はゴムバレーのチームですが一年前からソフトバレーの練習も始め、迎えた初の大会でした。ソフトバレーはあまり知られていないかもしれませんが、やわらかいボールとバトミントンのコートを使う 4 人制バレーで、ネットの高さは 2 m しかありません。試合も年齢別となっていて全国大会の一番上のシルバーの部はなんと 50 代 + 60 代のみが参加資格です。ですからもうジャンプ力に自信が無くなって革バレーじゃちょっとつらいと感じてる人でも十分試合で戦え楽しめます。さて、デビュー戦の結果ですが、レディースチームはワンセッターと言う初心者にはちょっと無謀なフォーメーションが裏目に出て予選リーグで 2 敗したもののその次の試合で念願の初勝利を挙げました。そしてトリム B（男 4 5 才以上、女 3 5 才以上混合）チームは予選リーグで今年度の全国大会千葉県代表のいる N を撃破し 1 位で通過、さらに市内 2 強のもう一方の S をも破りなんと決勝進出を果たしました。

決勝では体力不足で力尽き、あまりの完敗ぶりに意気消沈しましたが、今は初出場で準優勝という結果を残せたことを素直に喜び、新たな目標に向かって闘志を燃やしています。メンバーは 40 代が中心ですが BAYTOWN をゆくゆくは千葉市でも指折りのクラブにしたいメンバー募集中です。練習は毎週日曜日 13:30-16:30 で打瀬小アリーナで行っていますので、見学でも体験でも構いませんから一度来て見ませんか？ 30 代、40 代の男女大歓迎です。

連絡先：豊増 cs-toyomasu.15@decomo.co.jp



ウタスポのルーツは地域運動会だった

今年、ベイタウン5月のイベントシーズンは雨にたたられた。5/13(土)開催予定だったベイタウンまつりは翌日に順延され、5/22(土)予定だった打瀬中学校体育祭も雨のため翌日開催となった。そんななか伝統の打瀬小学校「ウタスポ」は5/27(土)実施予定だったが、こちらも午前中に開会式を行い、競技に入ったところで雨が強くなり、5/30(火)に延期された。

この日行われる予定だった地域企画種目「ウタスポとるね〜ど'06」を取材しようと準備していたベイタウンニュースだが、雨のため延期ですっかり予定が狂ってしまった。5/30(土)の取材では締切を過ぎてしまう。仕方なく「ウタスポ」の歴史について調べ、紙面を埋めることにした。

そもそも「打瀬小学校運動会」である学校行事の体育大会がなぜ「ウタスポ」と呼ばれるのだろう。「打瀬小学校スポーツ大会」を短くして付けた名前と考える方も多いと思うが、実はちがう。正しくは「打瀬地域交流スポーツ大会」なのである。では「ウタスポ」は打瀬小学校の運動会ではないのだろうか。

「ウタスポ」は街開きの直後、平成7年5

月に第一回大会が行われた。当時は1番街から6番街までしか住宅はなく、まさに荒涼とした埋め立て地に小中学校と住居群が身を寄せ合って建っていた。そんな中で「地域がひとつになって楽しめるイベントを」と当時の打瀬小学校の運動会が地域交流スポーツ大会として企画されたのだ。つまり「ウタスポ」はベイタウンで最初の地域イベントということになる。

当時は打瀬小学校、中学校とも生徒数が少なく運動会を行っても種目が埋まらないという事情もあった。そのため、競技種目にも地域住民参加のものが多くあった。数年前まで行われていた「ウタスポマラソン」はその名残の種目だ。打瀬小の周りを周回するだけの

種目だが、小学生の他に一般の部があり、日頃運動不足のお父さんたちが意気込んでエントリーしていた。地域が一体となって盛り上がるイベントは他になく、打瀬小学校の校庭には学校に直接関係のない住民も集まり、五月晴れのなかピクニック気分でお弁当を揚げていた。

今はベイタウンまつりがその役目を引き継いだ形になり、地域スポーツ大会としての姿を「ウタスポ」に求めることは難しいが、年に一度ピクニック気分で青空の下お弁当を揚げ、「地区別対抗リレー」を観戦したいものだ。

【松村】



2000年の「ウタスポマラソン」の様。後ろは建設中のCPE

6月のコア

6/17
(土)

わくわくお話会

時間：10:30～

会場：ベイタウン・コア 講習室

絵本、紙芝居、ゲームと楽しいおはなし会を目指しています。

みなさんのご参加お待ちしております。

6/24
(土)

寺子屋工作ランド

時間：9:30～

場所：ベイタウンコア 工芸室

内容：竹トンボ ほか

持ってくるもの：小刀、その他工作道具

参加費：50円(材料費、保険代)

6/25
(日)

第41回 ファツィオリの会

時間：9:30～11:30

会場：ベイタウン・コア音楽ホール

音楽愛好会が、街の皆様にもフルコンサートピアノ「ファツィオリ」を弾いて頂く機会をと、毎月1度行なっています。ピアノ演奏だけでなく、楽器演奏、声楽、合唱などにも、どうぞご利用下さい。非公開希望も受け付けています。見学はご自由に出来ます。どうぞお出掛け下さい。

連絡先：阿曾 tel & fax 211-0273

メールアドレス kakuhito@mue.biglobe.ne.jp

出演申し込み締切日：6月18日(日)

神田外語キッズクラブ

神田外語キッズクラブは神田外語大学と同じグループが運営する児童英語教育機関です。

無料体験レッスン受付中！

詳細につきましては、お問合わせ下さい。

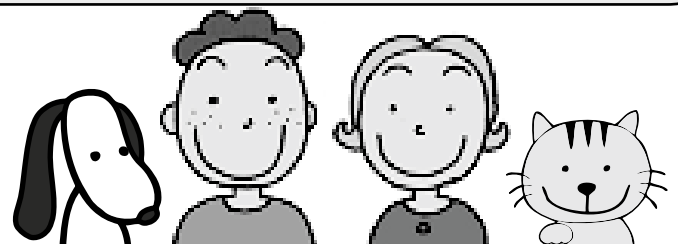
日程はホームページでもご確認いただけます。

お申し込み 0120-154-815

(月～金 10:00～18:00)

<http://www.kandagaigo.ac.jp/kidsclub>

e-mail:kidsclub@kifl.ac.jp



子ども達に英語を教えてください。講師も募集中です。ご興味のある方は電話連絡の上、履歴書をご郵送ください。

〒101-0047

千代田区内神田3-10-7 宮澤ビル3F

神田外語キッズクラブ

今回は、ペイタウンニュースサポーターで、シータワーにお住まいの向井田明さん取材した。取材のきっかけは、毎月第1土曜日恒例のペイタウンニュースを配る会での情報だった。「宇宙関係の仕事をしている人がサポーターにいる」と聞き、それが以前からペイタウンニュースの配布を手伝ってくれている向井田さんと分かり今回の取材となった。

「無重力体験はあるのだろうか」とか「種子島には行ったことがあるのだろうか」とか勝手に想像を膨らませて取材に伺ったところ、人工衛星等を利用して、地球の資源や現象などについて探査する『リモートセンシング』という技術の研究者だった。したがって、向井田さん自身がロケットを作ったり、ロケットに乗ったりしている訳ではない。向井田さんの仕事は、人工衛星（正確には、地球観測衛星）から送られてくる観測データを元に

各種の補正や解析を行い、宇宙航空開発研究機構（JAXA）などの依頼主に画像やデータを提供することだ。宇宙からの観測というと、LANDSAT などによる地理画像を思い浮かべるが、その他にも海水面の温度分布や、赤潮の発生状況、さらには平面 + 高さの3次元データまで得ることができるそうだ。

いま取り組んでいるのは、1月にH-IIAロケットで打ち上げられた陸域観測技術衛星（ALOS）『だいち』による観測データの解析だ。『だいち』では、2.5mの分解能で地表面を観測でき、ALOSプロジェクトのホームページ（www.eorc.jaxa.jp/ALOS/index_j.html）では、千葉市周辺の高精度画像が掲載されており、なんとペイタウンの各番街までくっきりと見ることができる（写真左下）。

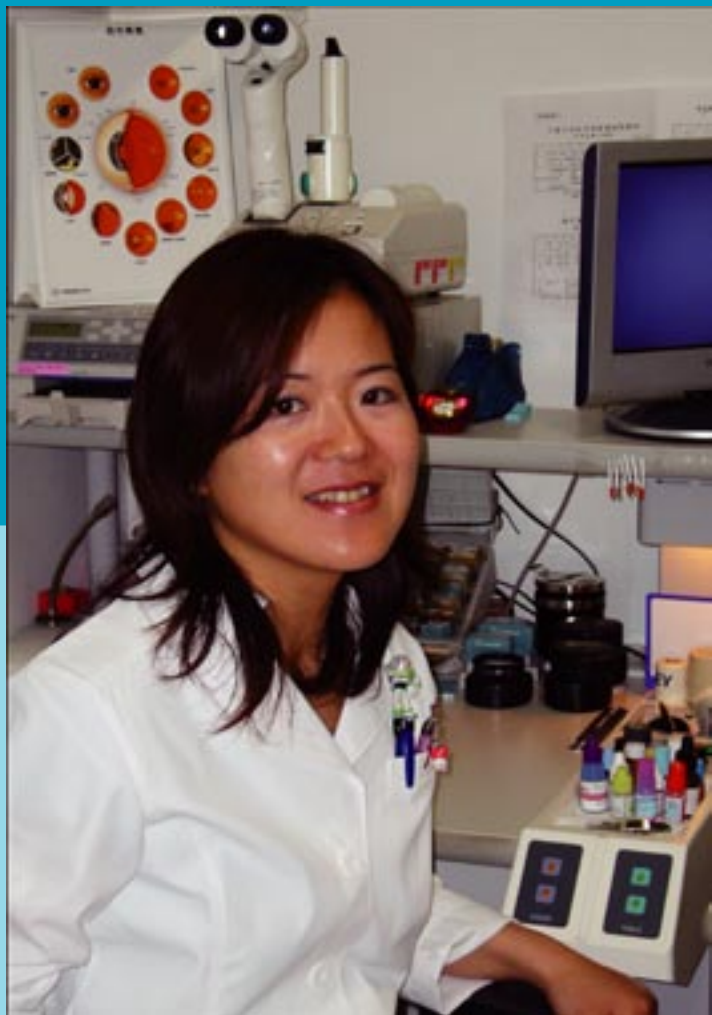
向井田さんがこの仕事に就くことになったのはごく自然の成り行きだった。元々星を見ることが好きで海や船が好きだったので大学は海洋学部へ入学。海の流れや温度の観測を行っていたが、より広域な観測を行える衛星による観測に興味を持ち、今の仕事を選んだ。本人によると「やりたいことをやっていたら、ここまで来ていた」という。うらやましい限りだ。

ペイタウンに住むことになったきっかけは、あるコンピュータ関係の展示会が幕張メッセであり、そこに奥様と訪れたときに二人で「この辺いいね」ということになった。元々北海道の海の近くで生まれ育ったこともあり、や



はり海の近くのペイタウンを選ぶことになったそうだ。入居当時には奥様のお腹の中にいたお子さん（男の子、女の子の双子）も今や5歳となり、遊び盛りで週末ともなるとお相手で大変とのことだが、ペイタウンは近くに公園が多く、良い小学校もあり、地域も比較的安全ということで子育ての面でも満足しているとのこと。趣味は自転車（ロードレース）で、会社の仲間のサークルでの活動や、手賀沼までのサイクリングなどを楽しんでいる。「子育ても一段落し、そろそろ少し余裕ができそうなので、今後は街の活動にも参加して、住みやすい街にしていきたいですね」とのこと。小中学校での地域交流特別クラブ等で、宇宙から見た地球の話をしてもらうのもいい。

【板東】



海浜幕張眼科 海浜幕張駅前 テクノガーデン1階(F棟)

はじめまして 院長の笹谷です

美しい街並と整備された公園がとても気に入っており、この春、関西より引越してきました。5月より当院にて診療を担当しております。

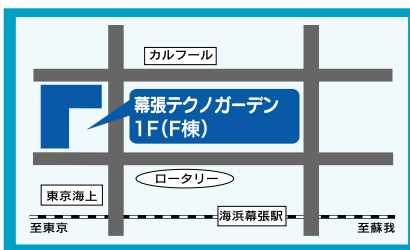
今まで小児眼科を中心に、子供からお年寄りまで診療してまいりました。わかりやすい説明で皆様に安心していただける医療を心がけていきたいと思っております。

これからもよろしくお願いいたします。

やさしいお母さんのクリニック

いつも笑顔で明るく、元気なクリニックです。

先生もスタッフも女性ばかり、家に帰ればママに変身!! 「心のかよった医療をめざして」をテーマに取り組んでいます。



<http://www.jutoku.com/ganka/makuhari/>



〈診察時間〉

AM10:30～PM6:00

〈定休日〉土曜・日曜・祝日

☎ 043-296-3103
電話予約もできます